



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東  
 コード番号 6033 URL <https://www.e-xtrême.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 佐藤 昌平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 由佐 秀一郎 TEL 03-6673-8535  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,343	18.5	653	54.7	775	55.7	557	91.7
2022年3月期第3四半期	5,351	15.2	422	△30.6	498	△12.6	290	△20.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 511百万円 (46.1%) 2022年3月期第3四半期 350百万円 (△7.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	101.44	101.11
2022年3月期第3四半期	53.09	52.78

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,585	4,527	59.8
2022年3月期	5,030	3,824	70.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,938百万円 2022年3月期 3,523百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2023年2月13日）公表いたしました「通期業績予想（連結）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	20.3	915	54.5	1,000	40.0	700	54.6	127.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年2月13日）公表いたしました「通期業績予想（連結）および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）株式会社 Dragami Games

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	5,496,776株	2022年3月期	5,496,776株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	868株	2022年3月期	800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	5,495,928株	2022年3月期3Q	5,476,663株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済社会活動の正常化が進む中で、持ち直しの動きが見られる一方、海外情勢等による原材料価格やエネルギー価格の上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等による下振れリスクに加え、急激な為替変動が進むなど全体としては楽観できない状況であります。

一方、当社グループが提供する各種サービスにおいては、これらの影響を直接的に受けることはなく、「デジタル人材事業」「受託開発事業」「コンテンツプロパティ事業」を積極的に展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,343,223千円（前年同四半期比18.5%増）、営業利益は653,539千円（前年同四半期比54.7%増）、経常利益は775,811千円（前年同四半期比55.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は557,501千円（前年同四半期比91.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <デジタル人材事業>

デジタル人材事業は、ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員（クリエイター&エンジニア）が顧客企業に常駐し、開発業務を提供しております。

当第3四半期連結累計期間においては、企業のDX推進などによる技術ソリューションに対する旺盛な需要を背景に、新規・既存案件とも受注が好調に推移いたしました。なお、稼働プロジェクト数は6,007（前年同四半期稼働プロジェクト数は5,272）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,999,133千円（前年同四半期比13.2%増）、セグメント利益は692,490千円（前年同四半期比18.6%増）となりました。

#### <受託開発事業>

受託開発事業は、主にデジタル人材事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM(Customer Relationship Management)構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、「新規」「保守」「保守開発」「EPARK事業」の4つに大別されます。

子会社の株式会社エクストラボ、EXTREME VIETNAM Co.,Ltd.及び株式会社E P A R Kテクノロジーズについても当該事業に含まれます。また、当第3四半期連結会計期間より、エス・エー・エス株式会社及びその子会社が本セグメントに加わることになりました。

当第3四半期連結累計期間においては、EXTREME VIETNAM Co.,Ltd.において、稼働率が順調に回復するとともに、その他の子会社（株式会社エクストラボ・株式会社E P A R Kテクノロジーズ）及び親会社における受託開発プロジェクトについても順調に推移いたしました。エス・エー・エス株式会社及びその子会社についても、一定の売上高に貢献いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,332,117千円（前年同四半期比21.8%増）、セグメント利益は200,528千円（前年同四半期はセグメント損失29,439千円）となりました。

#### <コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム運営のほかに、当社が保有するゲームタイトルまたはキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

当第3四半期連結累計期間においては、当社がライセンス許諾したスマートフォン版ゲームアプリ『ラングリッサー』の運営により、ライセンス許諾先である香港紫龍互娛有限公司及び上海紫舜信息技术有限公司を通じてゲーム販売額に応じたロイヤルティ収益が発生いたしました。また、2022年6月に子会社化した株式会社D r a g a m i G a m e s のゲーム販売等の収益が加わりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は365,104千円（前年同四半期比4.6%減）、セグメント利益は284,031千円（前年同四半期比15.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、6,585,236千円となり、前連結会計年度比1,554,520千円の増加(前連結会計年度比30.9%増)となりました。これは主に、現金及び預金1,062,154千円、受取手形、売掛金及び契約資産が144,809千円、仕掛品228,112千円、のれんが221,360千円それぞれ増加した一方、有価証券46,281千円、投資有価証券が184,412千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、2,057,483千円となり、前連結会計年度比850,795千円の増加(前連結会計年度比70.5%増)となりました。これは主に、短期借入金450,000千円、未払金が235,443千円、未払法人税等が107,518千円増加した一方、賞与引当金61,860千円、長期借入金が21,420千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、4,527,753千円となり、前連結会計年度比703,724千円の増加(前連結会計年度比18.4%増)となりました。これは主に、配当により93,431千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益557,501千円の計上により、利益剰余金が464,069千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を鑑み、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益・1株当たり当期純利益について上方修正しております。詳細につきましては、2023年2月13日に公表いたしました「通期業績予想(連結)および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,670,802	2,732,957
受取手形、売掛金及び契約資産	1,189,022	1,333,832
有価証券	49,960	3,679
製品	—	5,634
仕掛品	4,280	232,393
その他	145,600	165,083
貸倒引当金	—	△542
流動資産合計	3,059,667	4,473,038
固定資産		
有形固定資産	46,958	78,192
無形固定資産		
ソフトウェア	85,622	64,537
ソフトウェア仮勘定	6,159	—
のれん	—	221,360
無形固定資産合計	91,781	285,897
投資その他の資産		
投資有価証券	1,435,655	1,251,243
関係会社株式	135,486	163,429
その他	268,533	340,802
貸倒引当金	△7,367	△7,367
投資その他の資産合計	1,832,307	1,748,108
固定資産合計	1,971,048	2,112,198
資産合計	5,030,716	6,585,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	100,000	550,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	28,560	28,560
未払金	634,587	870,031
未払法人税等	62,933	170,452
賞与引当金	126,574	64,713
その他	187,312	291,612
流動負債合計	1,139,967	1,985,369
固定負債		
社債	—	20,000
長期借入金	66,720	45,300
退職給付に係る負債	—	6,813
固定負債合計	66,720	72,113
負債合計	1,206,687	2,057,483
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	419,031	419,031
資本剰余金	412,838	412,838
利益剰余金	2,672,065	3,136,134
自己株式	△1,082	△1,159
株主資本合計	3,502,853	3,966,845
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,441	△37,334
為替換算調整勘定	15,392	9,125
その他の包括利益累計額合計	20,834	△28,208
新株予約権	19,007	26,756
非支配株主持分	281,332	562,358
純資産合計	3,824,028	4,527,753
負債純資産合計	5,030,716	6,585,236

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	5,351,851	6,343,223
売上原価	3,940,209	4,607,860
売上総利益	1,411,642	1,735,363
販売費及び一般管理費	989,183	1,081,823
営業利益	422,459	653,539
営業外収益		
受取利息	33,185	55,003
為替差益	26,448	37,179
助成金収入	330	630
投資有価証券売却益	12,129	—
損害賠償収入	2,162	—
持分法による投資利益	810	27,943
受益権売却益	—	2,457
その他	2,964	5,746
営業外収益合計	78,030	128,959
営業外費用		
支払利息	1,286	1,216
受益権売却損	296	—
支払手数料	541	2,061
その他	13	3,410
営業外費用合計	2,137	6,687
経常利益	498,352	775,811
特別損失		
減損損失	60,657	—
固定資産除却損	—	3,651
特別損失合計	60,657	3,651
税金等調整前四半期純利益	437,695	772,160
法人税等	132,663	211,817
四半期純利益	305,032	560,342
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,252	2,841
親会社株主に帰属する四半期純利益	290,779	557,501

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	305,032	560,342
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,252	△42,775
為替換算調整勘定	7,790	△6,267
その他の包括利益合計	45,042	△49,042
四半期包括利益	350,074	511,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335,822	508,458
非支配株主に係る四半期包括利益	14,252	2,841

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,065,810	1,903,375	382,665	5,351,851	—	5,351,851
セグメント間の内部 売上高又は振替高	467,421	11,802	—	479,223	△479,223	—
計	3,533,232	1,915,177	382,665	5,831,075	△479,223	5,351,851
セグメント利益又は損失 (△)	583,968	△29,439	334,544	889,073	△466,614	422,459

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル人材 事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,648,066	2,330,052	365,104	6,343,223	—	6,343,223
セグメント間の内部 売上高又は振替高	351,067	2,065	—	353,132	△353,132	—
計	3,999,133	2,332,117	365,104	6,696,355	△353,132	6,343,223
セグメント利益	692,490	200,528	284,031	1,177,049	△523,510	653,539

(注) 1. セグメント利益の調整額△523,510千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)及び子会社株式の取得関連費用が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「デジタル人材事業」に含めていた費用の一部を管理部門に係る一

般管理費として、「調整額」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましても、変更後の方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、エス・エー・エス株式会社の株式を取得し子会社化したため、同社及び同社の子会社である酒田エス・エー・エス株式会社を連結の範囲に含めております。

これにより、受託開発事業においてのれんが226,759千円発生しております。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。